

平成16年5月14日

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 常見 和正
(コード番号 4208 東証第1部・福証)
問合せ先 経営管理室IR広報部長 泉原 雅人
(TEL 03-5419-6110)

UBEグループ新中期経営計画について

UBEグループ(宇部興産株式会社及びグループ会社)は、これまで実行していた中期経営計画「New21・UBE計画」(対象期間:2001~2003年度)が2003年度で終了したことから、2004年度を初年度とする3カ年の新中期経営計画(対象期間:2004~2006年度、呼称:New21・UBE計画)を策定しましたので、その概要をお知らせ致します。

・前「New21・UBE計画」の総括

1. 前計画の概要

- (1) キーワード 「スピードと確実性」
- (2) 経営方針 「株主価値重視のセグメント連結経営」を最適化するための経営改革実行
コア事業への経営資源集中による飛躍・拡大
有利子負債削減の前倒し

2. 経営方針の達成状況

- (1) 経営改革 : ほぼ計画通り実行
取締役会改革と執行役員制の導入、化学事業持株会社移行に伴う組織・意思決定機構の改訂等本社機能の強化、成果主義・職務評価を基本とした新人事制度の導入、基幹情報システムの再構築等の経営改革を実行中。(但し、具体的成果として業績面に反映されるまでには至らず。)
- (2) コア事業への経営資源集中による飛躍・拡大 : 未達
機能性材料は計画通りだが、アルミホイール事業の不振、受託医薬事業の失速等により、収益力は向上せず、利益計画は大幅に未達。
事業構造改革は、ABS樹脂や農材事業のアライアンス、APAO事業の売却、廃プラガス化(EUP)を除く環境事業からの撤退、不動産事業の縮小等、一定の成果を実現。
【 数値目標 : 2003年度総資産事業利益率 計画値 4.6% 実績値 3.3% 】
- (3) 有利子負債削減の前倒し : 計画以上に前倒し達成
有利子負債を修正計画の2年間で1,100億円削減し、計画以上に実行。
固定資産の減損に係る会計基準を前倒し適用、負の遺産を一掃しバランスシートは健全化。
株主資本は、利益計画の未達と前記減損処理により計画額に未達、資金調達環境は好転していない。
【 数値目標 : 2003年度末D/Eレシオ 計画値 3.9倍 実績値 4.8倍
2003年度末有利子負債残高 計画値 4,400億円 実績値 4,097億円 】

- ・ 機械事業 …… 産機・橋梁事業再構築と海外拠点の強化により、安定的利益体質を強化する。

c) 再構築事業

- ・ ポリエチレン事業 …… 千葉地区コンビナートでの一体運営を通じて市場競争力を強化するために、丸善石油化学とのアライアンスを実施する。

【 数値目標 : 2006年度 売上高営業利益率 6%以上、総資産事業利益率 5%以上 】

3. 数値計画

(1) 経営指標

財務構造改善と、経営改革・収益構造改革の成果として、次の3指標を目標値として設定。

		2003年度 (実績)	2006年度 (計画)
ネットD/Eレシオ	倍	4.4	3.0未満
売上高営業利益率	%	4.3	6.0以上
総資産事業利益率	%	3.3	5.0以上

(2) 損益計算書・貸借対照表の主要項目 (単位: 億円)

	2003年度 (実績)	2006年度 (計画)
売上高	5,113	5,500
営業利益	220	330
事業利益	237	350
純有利子負債	3,812	3,500
株主資本	857	1,200

[前提条件]

		単位	2004~2006年度
為替レート	T T M	円/\$	105
ナフサ価格	CIF JAPAN	\$/t	330
	国産	円/㏩	26.1
ベンゼン	米欧大口向け 契約価格平均	\$/t	555
石炭	豪州炭 F O B	\$/t	45.5
		円/t	4,778

以上